

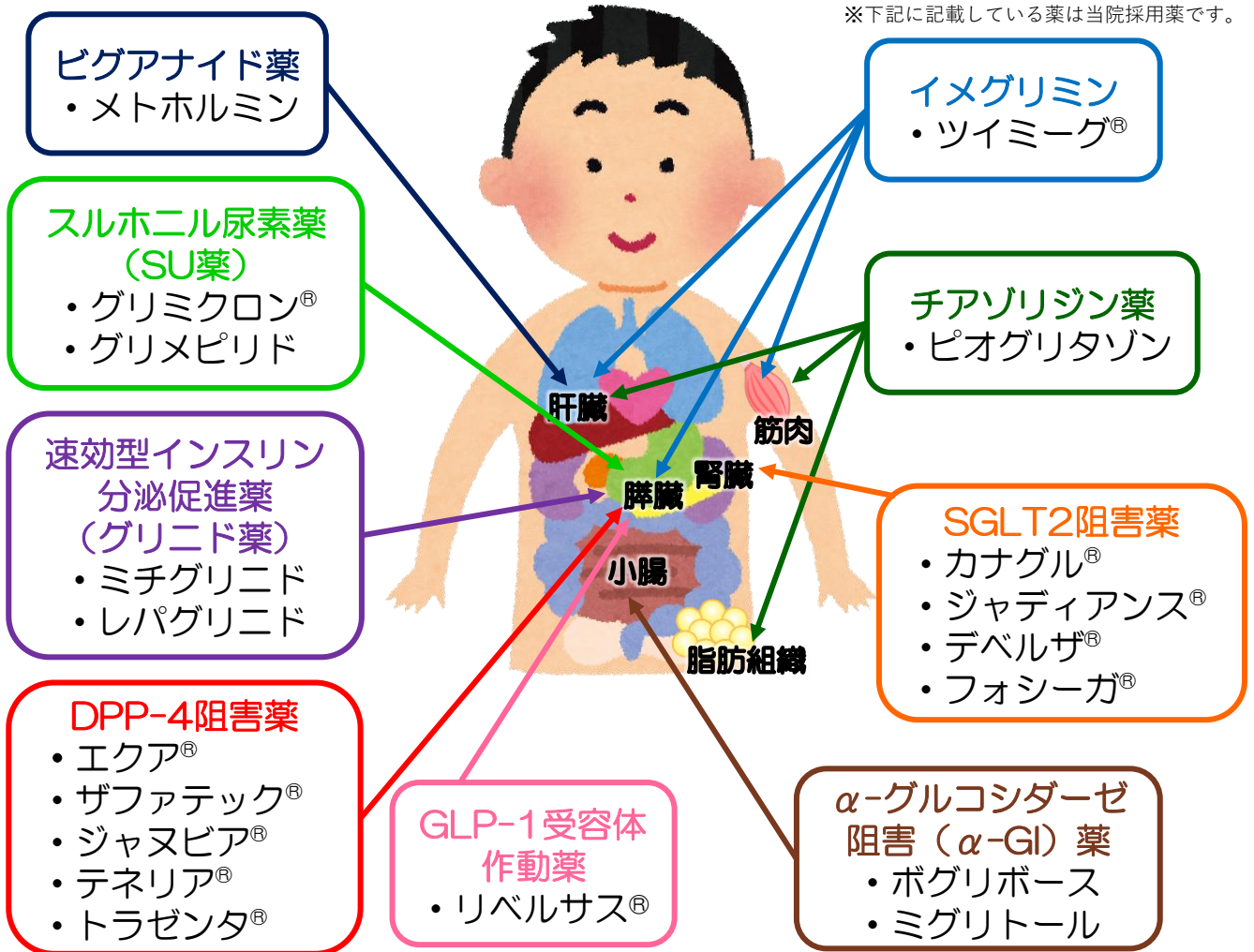
薬剤部

血糖値を下げる飲み薬

その薬は体のどこに作用しているの？

○糖尿病の薬は様々な種類があり、それぞれ効能効果や服用タイミングなどが異なります。下の図は飲み薬がからだのなかでどこに作用しているのかを表しています。

※下記に記載している薬は当院採用薬です。



配合錠

- エクメット® : **イクア®** + **メトホルミン**
- カナリア® : **テネリア®** + **カナグル®**
- グルベス® : **ミチグリニド** + **ボグリボース**
- スージャヌ® : **ジャヌビア®** + **スーグラ®**
- トラディアンスAP® : **トラゼンタ®** + **ジャディアンス®**

それぞれの薬について

ビグアナイド薬

作用：肝臓が糖を作るのを抑えます。
また、消化器からの糖吸収の抑制や、筋肉などでインスリンの感受性を改善する作用などがあります。

副作用：下痢、悪心、食欲不振

スルホニル尿素（SU）薬

作用：膵臓でのインスリン分泌を促します。

副作用：低血糖、体重増加

速効型インスリン分泌促進薬 （グリニド薬）

作用：より速やかなインスリン分泌を助け、食後高血糖を改善します。

副作用：低血糖

注意事項：食直前に内服

DPP-4阻害薬

作用：食事をした際に、腸管から分泌され、インスリン分泌を刺激するインクレチンというホルモンの働きを強めます。

副作用：低血糖（特にSU薬と併用時）

GLP-1受容体作動薬

作用：GLP-1というホルモンに似た作用をもち、血糖値に応じて膵臓からインスリンを分泌させます。

副作用：低血糖（特にSU薬と併用時）

注意事項：起床時に内服、
内服後30分飲食不可

イメグリミン

作用：血糖値に応じて膵臓からインスリンを分泌させ、血糖値を下げます。
また肝臓で糖が作られるのを抑えたり、筋肉で糖が取り込まれるのを改善してインスリンの効果を高めます。

副作用：悪心、便秘、下痢

チアソリジン薬

作用：脂肪組織、筋肉、肝臓などに働きかけ、からだでのインスリンの効果を高めます。

副作用：むくみ、体重増加

SGLT2阻害薬

作用：腎臓で排出される糖の再吸収を抑えて、尿に糖を多く出すことで血糖を低下させます。

副作用：脱水、尿路感染

α -グルコシダーゼ阻害（ α -GI）薬

作用：食事から摂取した炭水化物の分解を抑えることにより、小腸からの糖の吸収を遅らせて、食後の高血糖を抑えます。

副作用：お腹のはり、おなら、下痢

注意事項：食直前に内服

お薬を正しく飲んで血糖値をコントロールしよう！

